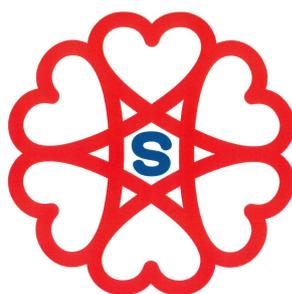


平成30年度

通常総会議案

日 時 平成30年4月24日（火）
午後6時30分

場 所 広川町商工会館 第一会議室



広川町商工会女性部

誓いの言葉

- 一 わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展の良き協力者であるとともに、推進者となる。
- 一 わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となる。
- 一 わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に務め、豊かなまちづくりの担い手となる。

平成30年度広川町商工会女性部通常総会

次 第

1 開 会 の 辞

2 誓 い の 言 葉

3 部 長 挨 拶

4 来 賓 祝 辞

5 祝 電 披 露

6 議 長 選 出

7 議 案

第1号議案 平成29年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

監 査 報 告

第2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算の決定について

8 そ の 他

9 閉 会 の 辞

第1号議案

平成29年度年事業報告書並びに収支決算書の承認について

平成29年度事業報告書並びに収支決算書を次のとおり提出する。

平成30年4月24日

広川町商工会女性部
部長 竹中とし子

平成 2 9 年 度 事 業 報 告 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

我が国経済は、経済再生に向けた取組や雇用促進により、緩やかな回復基調ではあるが、地方の中小・小規模事業者においては、景気回復を実感できず、依然として厳しい経営状況が続いている。

このような環境の中、経営者であり、経営者の良き協力者である商工女性は先行き不透明な経営環境に対応するため、積極的に研修会、講習会に参加しました。

又、盲導犬育成事業として商工祭において事業を継続し、さらに各地域で各種団体の推進力となって、地域社会の発展に努力しました。

平成 2 9 年 度 事 業 実 施 の 概 要

広川町商工会女性部

年月日	内 容	場 所	参加人員
29. 4. 12	女性部役員会	広川町商工会館	7名
29. 4. 12	女性部会計監査	〃	2名
29. 4. 27	平成 2 9 年度女性部通常総会 来賓：谷口会長、木下、林副会長	広川町商工会館	15名
29. 4. 28	平成 2 9 年度県女連通常総会及び資 質向上研修会	和歌山市 「和歌山自治会館」	竹中部長 栗原、寺村
29. 6. 21	有田郡商工会女性部連絡協議会 第 3 2 回通常総会	広川町商工会館	3名 事務局 1名
29. 6. 30	西広海岸清掃作業	広川町「西広海岸」	8名
29. 7. 11 ～12	商工会女性部主張発表和歌山県大会 並びに第 4 5 回商工女性学校	白浜町「白浜古賀の井 リゾート&スパ」	竹中部長 副部長 2名
29. 9. 7 ～8	近畿ブロック商工会女性部交流会並 びに主張発表大会	大阪市「シェラトン都 ホテル大阪」	竹中部長 副部長 2名
29. 10. 18 ～19	平成 2 9 年度商工会女性部代表者研 修（県外研修）「第 1 9 回商工会女 性部全国大会」	岐阜県下呂市 「下呂交流会館」	竹中部長 副部長 2名

平成29年度事業実施の概要

広川町商工会女性部

年月日	内 容	場 所	参加人員
29.10.4	女性部役員会 (商工祭、盲導犬育成事業の件)	広川町商工会館	12名
29.11.3	商工祭もち米洗い	広川町商工会館	8名
29.11.4	商工祭もちつき及びぜんざい等準備	広公民館、町民会館	14名
29.11.5	商工祭 ー盲導犬育成事業ー (模擬店の出店)	広川町民体育館前駐車 場	16名
29.11.26	役員・青年部・女性部視察研修	京都府「一休寺」 滋賀県「日吉大社」 道の駅「アーカス湖の 駅」	12名 (23名)
30.3.22	有田郡商工会女性部連絡協議会講習 会 「癒しのボトル ハーバリウム レッスン」 広川町商工会女性部 5名 湯浅町商工会女性部 6名 有田川町商工会女性部 15名	有田川町商工会館	26名 事務局4名

監 査 報 告 書

平成30年4月17日部長から提出された平成29年度事業報告書、収支決算書及び証拠書類の各事項について監査したところ、その内容は適切なものと認めます。

平成30年4月17日

広川町商工会女性部

監事 梅谷美津世 

監事 大西米子 

第2号議案

平成30年度事業計画並びに収支予算の決定について

平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）を次のとおり提出する。

平成30年4月24日

広川町商工会女性部
部長 竹 中 とし子

平成30年度事業計画（案）

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1 基本方針

我が国の経済は、緩やかな景気回復基調と雇用の緩やかな増加を続けてきましたが、商工会地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、地方の人口減少に伴う地域の消費低迷や超高齢化社会が進み、経営者自身の高齢化や後継者難などと相まって、依然として厳しい状況にあります。

こうした状況の中で、商工女性としてその特性を生かし、新しい知識と感覚の習得、経営の合理化、顧客サービスの向上に積極的に取り組まなければなりません。

又、商工女性として持てる力を発揮し、「地域に貢献する商工会女性部」として地域社会の活性化に向かって事業を積極的に展開し、一層の飛躍を図るものとします。

2 事業

(1) 研修活動

商工女性として必要な経営知識の習得と資質の向上を図るため、研修会、研究会に参加する。

(2) 広報及び意見活動

部員に対しての情報提供、意識調査や消費者ニーズの調査を行うと共にその成果に基づき関係機関に具申を行う。

(3) 地域活動

地域経済活性化のため消費者懇談会の開催、女性団体との連携、地元観光資源の保全、宣伝活動の推進。

(4) 生活活動

住みよい地域づくりをめざして青少年の健全育成、地域文化の創造、健康づくり、体力づくりの活動。

(5) 奉仕活動

地域社会の魅力づくり実現のため地域の美化運動、イベントの開催、交通安全運動、献血運動並びに社会福祉施設への慰問。

(6) 商工会事業への参加

商工会が行う各行事、講演会に積極的に参加する。

(7) 他町村女性部との交流、連携を図る。

(8) 組織強化のため部員の増強を図り、部員相互の親睦を深める事業を行う。

(9) 関係団体と協調して、社会福祉に寄与する事業を行う。

(10) 盲導犬育成事業の協力と推進。

